

いわき中央警察署・福島県警交通指導課へ「感謝状」を贈呈しました ～整骨院経営者らによる保険金詐欺事件の検挙に対して～

日本損害保険協会東北支部（委員長：黒田 伸哉・損害保険ジャパン株式会社執行役員東北・北海道担当）では、この度、保険金詐欺事件で犯人を検挙したいわき中央警察署および福島県警交通指導課へ感謝状を贈呈しました。

12月14日（水）に福島県損害保険防犯対策協議会総会の場で行われた贈呈式には、いわき中央警察署の板垣 靖志 署長および福島県交通部交通指導課の本多 文彦 課長が出席し、福島県損害保険防犯対策協議会の進藤 研 会長（損害保険ジャパン株式会社福島支店長）から、「粘り強い捜査により検挙され、損害保険事業の健全な運営に多大な貢献をいただいた」として感謝状が手渡されました。

本事件は、2021年10月に、交通事故を偽装し保険会社から自動車保険金をだまし取ろうとしたとして、5名が逮捕されました。その後、約1年にわたる捜査により、新規被疑者を逮捕するとともに、整骨院経営者らによる傷害保険金詐欺事件も立件されました。保険金請求を不審に思った保険会社からの相談を端緒に、いわき中央警察署と福島県警交通指導課が共同捜査を行い、合計8名の被疑者を逮捕。被害総額は約487万円におよびました。

板垣署長からは、保険会社の捜査への協力に感謝するとともに、疑義のある事案があれば遠慮なく連絡をもらいたいとコメントがありました。同協議会の進藤会長からは、保険金詐欺は巧妙・悪質化し、損保各社だけでは見抜くことが困難な事案も増えてきており、県警等関係機関の協力が必要であることから、引き続きの連携について依頼がありました。

本贈呈式の模様は、後日、福島民報および福島民友新聞にも掲載されました。



板垣署長への贈呈



本多課長への贈呈



集合写真

（左から進藤会長、板垣署長、本多課長）